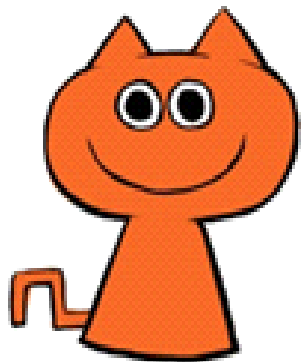


豊中市社会福祉協議会の **CSW**と生活困窮者自立支援とり 個別支援と地域づくりの一体的な展開



マスコットキャ
ラクター“ビーのん”
よろしくね！！



地域共生社会への新たなステージ

- ・一人も取りこぼさない ……SOSを出せない人に届く
- ・排除から包摂へ ……総論賛成各論賛成へ
- ・支えられた人が支える人に
- ・全ての人に居場所と役割を

……それを支えるための丸ごと

断らない福祉

多機関協働

……福祉が町おこし

……社会的孤立への対応



CHAPTER, 1

特別部会での議論

生活困窮とはどういう対象者なのか

経済的困窮

社会的孤立＝人間関係の貧困

人間関係の貧困

- ・そもそも人間関係を作りにくい特性
- ・社会的に「困った人」と見られる事案 偏見・排除

⇒ 「困った人」は困っている課題を抱えている人

ゴミ屋敷はその典型である

経済的に支えることとその人を支える地域やつながりを増やすことを一体的に解決しないと本当の意味で支援にならない



CHAPTER, 2

アセスメントの方法と視点

1, 本人に困り感がない場合

- 本人のことをよく知る人たちからの情報収集が必要
- 本人に対して文句を言う人は良く本人を観察している

「困った人」は困った問題を抱えている

苦情をいう人は本人のことを心配してくれている

⇒情報収集する 本人の背景を知る手がかり

2, 本人が支援を臨んでいない場合

- 周りの困り感＝本人の困りごとではない
- 本人の困っていることから支援を始める

ゴミの原因 足が痛い 介護保険

物が見つからない などなど



CHAPTER2-2

- 最初の共感を作る時の留意点

本人の言い分に共感する

審判的な態度になってはいけない

その人のことを親身になって話を聞くこと

共通の話・その人の価値観への共感・

いいところを探す・特技や趣味に興味を持つ

これまでの生活苦などへの尊重

社会的に排除されてきたことへの怒りの共感等

・・・その人を知ることによって優しさは生まれてきます



CHAPTER2-3

- 本人が申請のない場合どのようにかかわればいいのか

- ① 本人にとって必然性のある訪問を試みる

- 全戸のローラー作戦を行う

- 高齢者のアンケートを実施する

- サロンなどのお誘いをする

- 食材支援

- 情報提供など

- ⇒ 出会えなければ訪問したことを名刺などの裏に

- メモを書いてポストイングする

- 何度も重ねていると相手も存在を知ってもらう

- タイミングを待つ



CHAPTER2-4

- ゴミ屋敷といわれるような事例が増えた背景は

⇒何年間も人が訪ねていない

社会的孤立の象徴である

アウトリーチを可能にするポイント

- ・ごみのことで困っているのはまわりのひとでありワーカーはごみの問題から入るのではなく本人の困りごとからかかわり信頼関係を作っていくこと

⇒結果として本人の生活の場の整理などの課題

にアプローチしていく。初対面の人に家が汚

いなど言われるのは大きなおせっかい

この際、ワーカーと地域の支援者との連携が大切...情報を収集しながら地域の偏見をなくしていく働きかけが重要



CHAPTER3

- 近隣も迷惑しているときにどう近隣に説明するのか
その人のことをワーカーが知ることで周りの人たちからの(特に地域のリーダー層)誤解を解くこと
片づけができないのは怠けているだけでなく、年を取ったり、発達障害があったり、大切な人を失ったり様々な事情があることを伝える
 - ⇒ ①片づけに協力をしてもらう
...一定の共感が得られる場合
 - ②片づけを行った後つながりを再構築
...関係性が完全に切れてしまっている場合苦情を言ってる人と当事者の間の盾になる役割を期待



CHAPTER3-2

- 専門職だけで解決せずに住民に依頼するのはなぜか
⇒ 地域の中に本人のことを知っていて理解者ができることが今後も安心して暮らしていけることになる
異変が起きたときには早期発見につながる

近隣住民の福祉意識の変化はあるのですか。

- ⇒ 他人事として地域から排除された人が地域で支えられている姿を見るとこの町にいれば認知症になっても生活苦になっても助けてもらえるという意識になっていく 自己責任論では地域がばらばらに
地域の二面性 支援と排除



CHAPTER3-3

本人は近隣の人と関係を持ちたいと考えているのか

①本人に対して排除の感情の地域の場合

⇒ 少し離れたところから支援者を探す

自治会万能主義は悲劇を起こす 先日の事件

②共感してくれる人を作り出せた場合

⇒ 地域に親身になってくれる人がいることで本人の気持ちも変わっていく

個々の支援と地域へのアプローチこそが福祉教育
ワーカーの地域へのアプローチとして重要



CHAPTER4-1

校区福祉委員会の組織化と活動

おおむね小学校区に校区福祉委員会を設置

阪神淡路大震災をきっかけに孤独死対策にとの組む

行事イベント型の事業から個別見守り型の支援に

ふれあいサロン

会食会

ミニデイ

子育てサロン

子ども食堂

避難行動要支援者の見守り

福祉なんでも相談窓口



校区福祉委員・民生委員による活動

個別援助活動・・・見守り・声かけ活動・個別支援

グループ援助活動・・・ふれあいサロン

世代間交流・ミニデイサービス

会食会・子育てサロン

その他・・・災害時の安否確認事業

子どもの安心安全見守り活動

福祉なんでも相談窓口



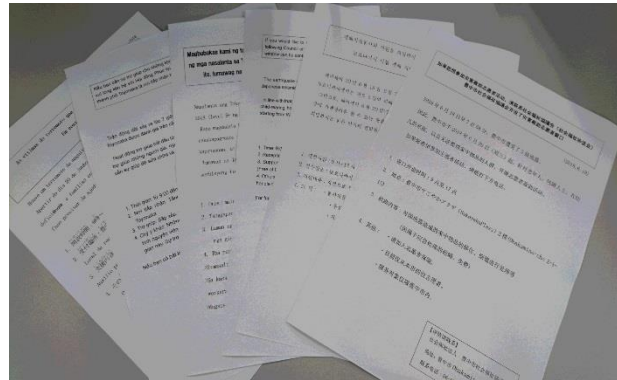
大阪北部地震 日頃の見守りが効果を発揮



地震に関する相談窓口

建物損壊などの被害で「災証明」
が要る場合... 6858-2150
(固定資産税課)

片付けなどで助けが必要な場合
... 6848-1000
(災害支援ボランティアセンター)



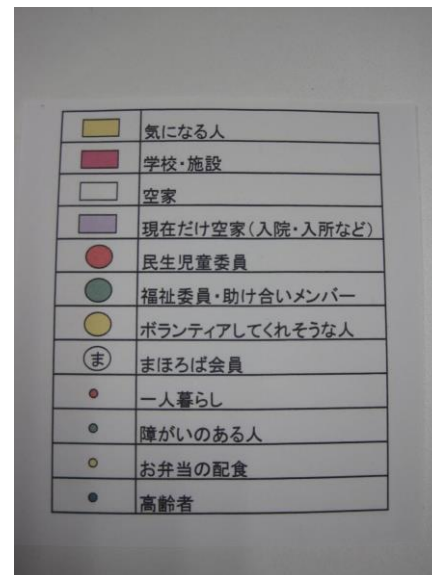
校区福祉委員会活動

- 福祉なんでも相談窓口（小学校区ごとに設置）
- 身近な福祉相談の実施と専門機関への取次ぎ
 - 地域住民が集う、交流ふれ合いの拠点
 - 福祉サービスに関する情報、ボランティア情報、地域福祉活動情報の受発信
 - 概ね週1回、2時間開設

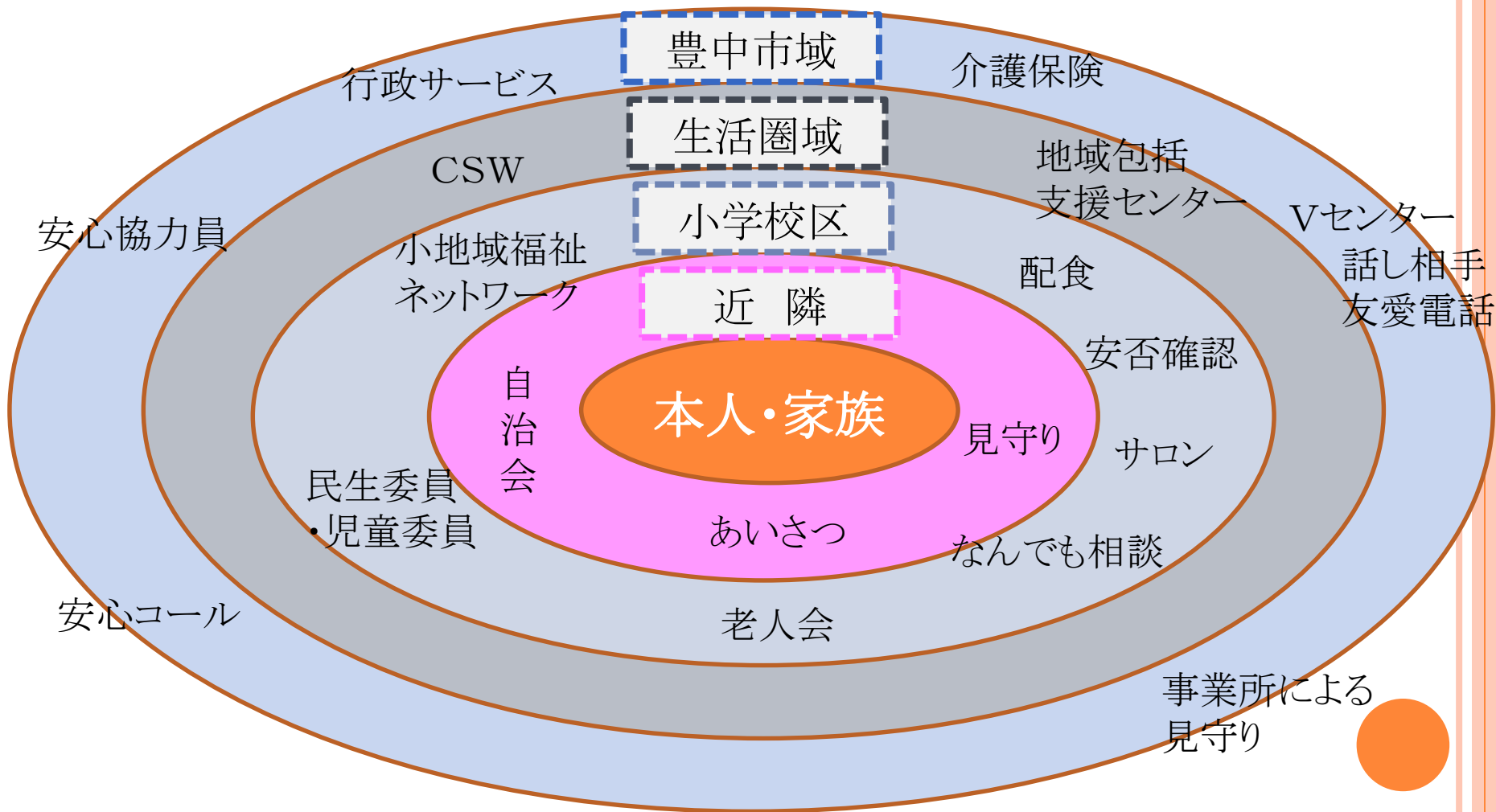


一人も取りこぼさない①

ローラー作戦 年間4000軒 見守りマップ作り



①豊中における重層的な見守りの方法



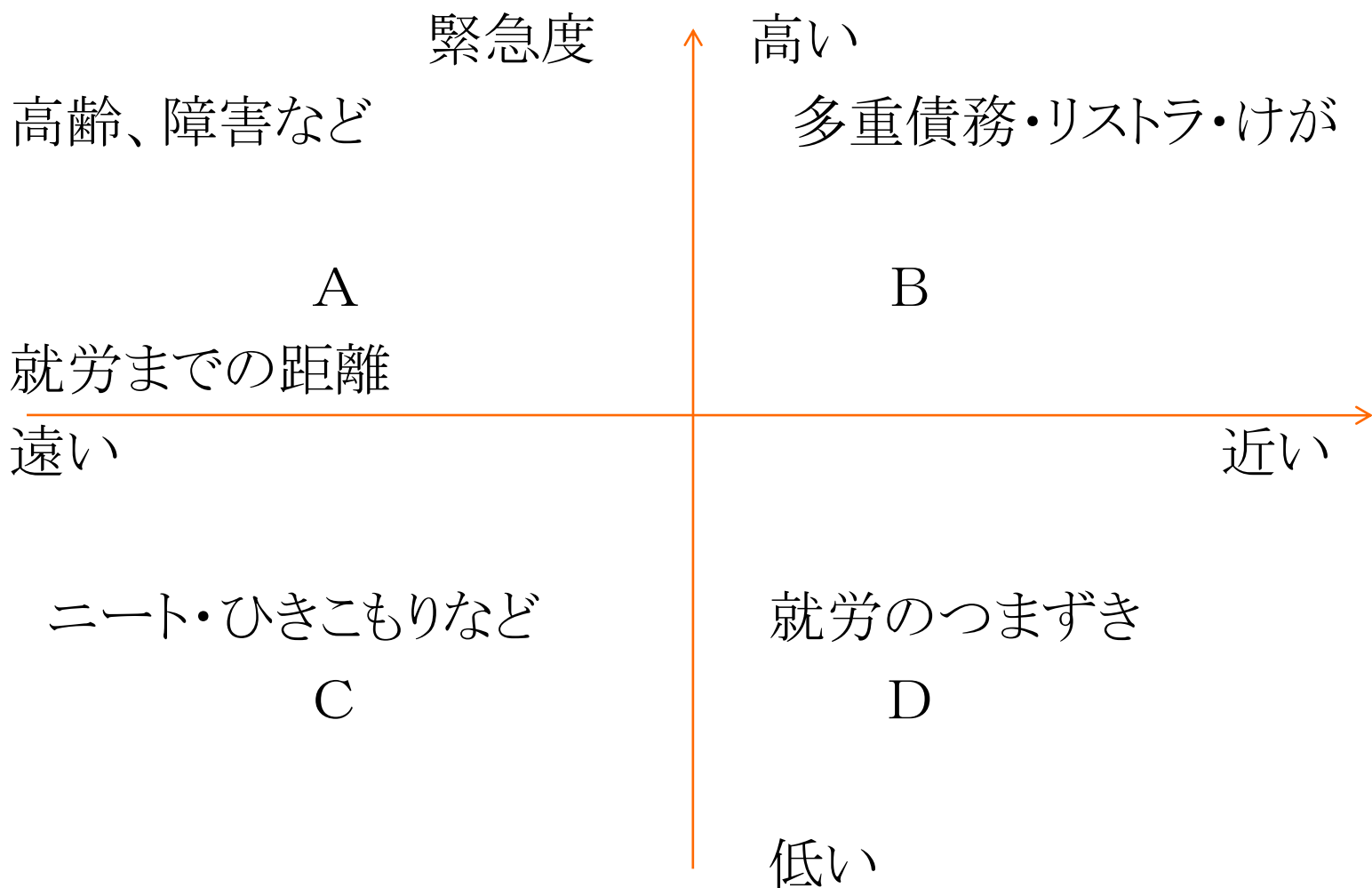
CHAPTER4-1 地域づくりの方法と視点

社会資源開発 (地域づくり)

- 個を支えるための仕組み
- 個を支える居場所づくり
- 地域課題を解決するための社会資源開発
当事者ととともに作っていくことが大切



生活困窮者の対象



豊中の生活困窮者支援①

生活困窮者支援緊急支援

- 貸付、日常生活自立支援、なんでも相談、資源ごみ持ち去り禁止条例との連携、公園などのアウトリーチ、学校などからの生活困窮者の伴走支援→CSWへ(緊急対応、多重債務整理、年金手続き、住宅探し、制度利用、就労支援等)
- 善意銀行の生活困窮者貸付
- 民生委員助け合い資金
- 物品提供(衣類、食糧、リユース)
- 施設 社会貢献費用との連携
- 住替え支援
- 食材支援 フードドライブ



豊中の生活困窮者支援②

- CSWの相談の中で対応が難しかった就労まで距離のある若年の支援(ニート・ひきこもり・リストラ・ホームレス等)
 - 就労準備的な活動 *本人との目標設定(PSプラン)

居場所→就労プログラム→就労体験→就労

- ①居場所...週4回(生活面と自己肯定感、仲間意識)
- ②就労プログラム2時間一コマ 活動費支給
- ③就労体験...新聞配達、団地の草ひき、買物支援、パン屋さん
農業、林業、うどん屋さん等
→職域開発地域のネットワーク発揮 活動費支給
- ④ビーの×マルシェでの定期的な就労体験
- ⑤就労訓練...パートで一定期間仕事に就く(この間就活)
- ⑥就労支援...就労支援センター・ハローワークとの連携

				就労準備	一般就労
	居場所参加	中間的就労	就労体験		
アウトリーチ					
家庭訪問 家族会参加	生活支援	500円/2H	新聞配達	就職活動 地域就労支援 センター	OB会

すべての人に居場所と役割を① 定年後

豊中あぐり



すべての人に居場所と役割を②

～子どもの居場所ネットワークの構築～

【内容】

子ども食堂・フリータイム・
学習支援（学生ボランティア）

《小学校区レベル》

「子どもたちの居場所」

一人ぼっちをつくらない
生活力をつける
自己肯定感を高める
自分の役割を感じられる

【実施主体】

校区福祉委員会



《社会福祉協議会》
コンセプトの共有
フードバンクの構築
学習会の実施

【実施主体】
社会福祉法人

《圏域レベル》

※市内7圏域

「福祉施設を中心にした
トワイライトステイ」

施設の社会貢献事業
地域で支えきれない子どもの支援

【内容】

子ども食堂・入浴・学習支援

《民間企業・NPOなどの 活動団体レベル》

「民間性・専門性を活かした支援」

子どもの貧困対策
家庭の経済状況による学力格差の解消

支えられていた人が支え手になる③

プログラム進捗状況（就労体験）

○就労体験プログラム…ジョブサポーターと共に仕事を体験

- 出前市場のサポート…府営住宅での出前市場の際、



お買い上げの商品を家まで運ぶ

- 情報誌、夕刊配達



支えられていた人が支え手になる④

福祉便利屋(住民主体B1)の取組
200円/15分の支え合い





びーの×マルシェ⑤

びーの×マルシェオープン！
 「豊中びーのびーの」（引きこもり等の若者支援事業）と「豊中市小売商業団体連合会」の協力でお店を6/12にオープン！



CHAPTER4-2地域づくりの方法と視点

豊中市社会福祉協議会CSWの役割

地域福祉計画に位置付け

- ①制度の狭間から地域づくりへ
- ②住民と協働するワーカー
- ③ライフセーフティネットの仕組み
- ④プロジェクト会議(出口づくり)

総論賛成各論賛成 排除しない地域づくり

→ 個の課題から地域づくりを考える

ゴミ屋敷・子供の貧困・ひきこもり・8050

アルコール依存・刑余者などなど

社会的孤立へのアプローチ



コミュニティソーシャルワーカーの 取り組み

相談者

本人・地域住民・民生委員など
関係機関職員
行政担当課、保育所・施設など
福祉なんでも相談窓口

問題解決

公民による支援のコーディネート
行政制度でサポート
ボランティアによる支援
校区活動による支援
困難事例についてはケース検討会

相談

CSW

調整



大阪府の定めるCSW
養成講座を修了しています



コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の役割は？

- 福祉なんでも相談窓口のバックアップ
 - ・社会的援護を要する人々への対応
 - ・複数機関の連携による支援が必要なケース
 - ・公民協働でのサポートが必要なケース
 - ・地域との関係調整が必要なケース
- 地域福祉ネットワーク会議の運営
- 地域福祉計画の支援
- セーフティネットの体制づくり
- 要援護者に対する見守り・相談



コミュニティソーシャルワーカーが支える住民主体の地域活動(大阪府豊中市)

自治体概要※

人口 398,479

面積 36.60km²

小学校数* 41

中学校数* 18

※2019年4月1日現在

*市立のみ

- 小学校区ごとに設置した「校区福祉委員会」(地域住民が活動の中心)において、ごみ屋敷など、なんでも相談を通じて把握した課題を地域住民とともに解決を図る。
- 社会福祉協議会(生活困窮者自立支援制度の自立相談支援の委託も受ける)のCSW(コミュニティソーシャルワーカー)が、専門的観点からサポート。

住民に身近な地域での取組

◎校区福祉委員会

- 小学校区ごとに設置された自主ボランティア組織
- 校区内の福祉問題を解決するために、地域の各種組織の協力を得て活動
- 配食サービス、ミニデイサービス、サロン事業、ボランティアの育成・登録等を実施



豊中あぐり

◎豊中あぐり(新たな担い手の育成)

- 都市型農園を拠点に、人の交流と社会参加を促進(中高年男性中心)し、地域福祉の担い手づくりを目指す

◎福祉なんでも相談窓口(地域福祉の活動拠点)

- ボランティア(校区福祉委員、民生・児童委員)がどのような相談でも受け止める。

◎CSW(コミュニティソーシャルワーカー)

- 市社会福祉協議会のCSWが専門的観点から住民活動をサポート
- 住民と協働しながら、地域のニーズを把握
- 必要に応じて、関係機関や広域のネットワーク会議等につなぐ



住民・専門職によるアウトリーチ(ローラー作戦)

市レベルでの取組

地域包括ケアシステム推進総合会議(市全域)

・多分野の相談支援機関の課題共有、しくみづくりの場

高齢

障害

子育て

医療

生活困窮

民生・児童委員
校区福祉委員

警察

消防



連携

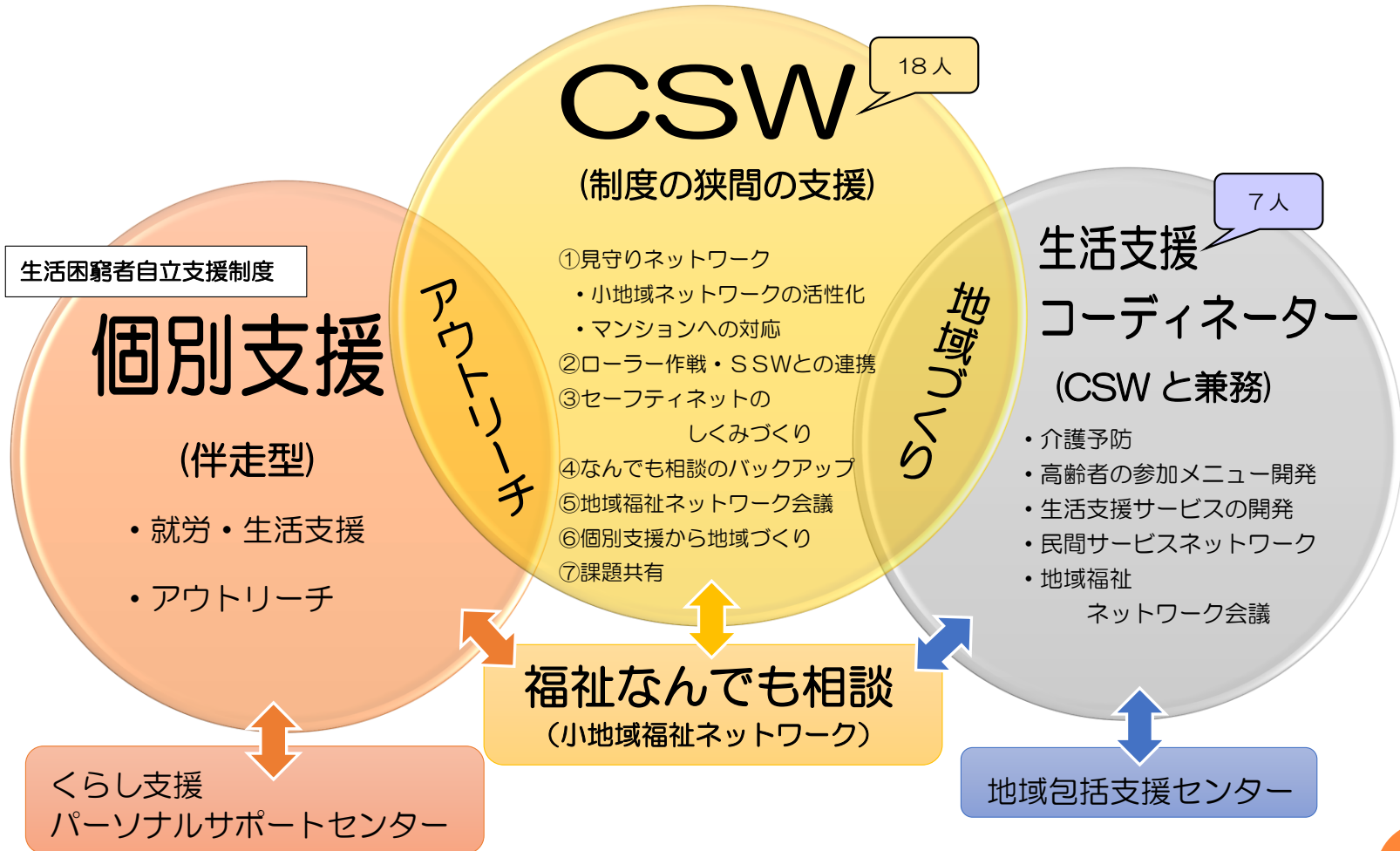
連携

地域福祉ネットワーク会議(日常生活圏域:市内7地域) 【高齢部会・障害部会・子ども部会】

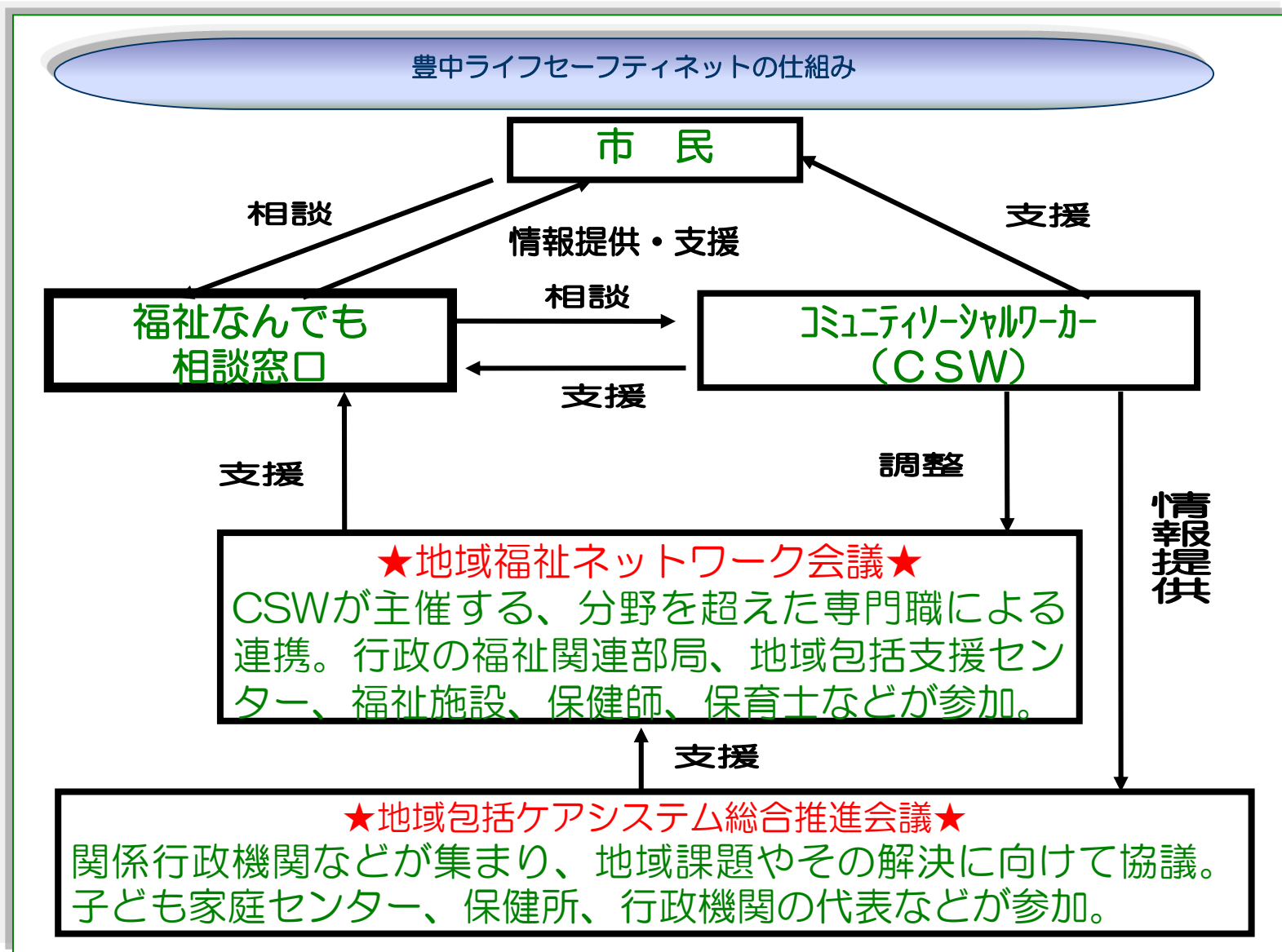
- 専門職、高齢・障害・児童の施設事業所、地域住民、民生委員・児童委員などが参加
- ワークショップなどを通じた課題共有・地域連携の場

【地域福祉推進専門職の役割】

豊中社協(案)



地域福祉推進システム 一人も取りこぼさない③



一人も取りこぼさない 入口づくり
早期発見・アウトリーチの必要性

- ① 措置から契約へ福祉制度が大きく変化したことに伴い
SOSを出せない人、サービス拒否者は繋がらない
- ② 本当に困っている人はなかなか制度に結び付かない



A 民生委員・校区福祉委員による早期発見

見守り、声掛け、福祉なんでも相談

B 住民による見守りローラー作戦

民生委員、福祉委員、地域包括支援センター、CSW

C 多機関との連携による早期発見

生活困窮者・社会的孤立者の早期発見のための検討会議

行政の滞納状況・SSW・病院などとの連携



生活困窮者・社会的孤立者の 早期発見・支援のための検討会議



コミュニティソーシャルワーカーの取り組み 個別支援から仕組みづくり

- 福祉ゴミ処理プロジェクト
大量ごみの処理についてのルール化を図る
- 徘徊SOSメールプロジェクト
- 各種交流会の開催 同じ立場の介護者をつなぐ
 - 高次脳機能障害者家族交流会&自主グループ化
 - 広汎性発達障害者の家族交流会&自主グループ化
 - 男性家族介護者・若い家族介護者の交流会
- 子ども食堂
- 豊中めぐり
- 引きこもりの居場所づくり ビーの×マルシェ
- 内職広場・道端の駅
- 福祉便利屋
- フードドライブ
- 8カ国語の地域福祉ガイドの作成



豊中の生活困窮者支援プログラム開発

- 善意銀行の生活困窮者貸付
- 民生委員助け合い資金
- 物品提供
 - 衣類 ..寄付
 - 食糧 ...フードドライブ ダイエーの食品ロス事業
 - リユース...環境部との連携引っ越しごみ(家具・自転車のリユース)
- 施設 社会貢献費用との連携
 - 一件10万円まで現物支給



ソーシャルワーカーに求められる10のカギ

- ①入口と出口づくり 入口 早期発見ネットワーク 解決力が発見力
出口 一般就労だけが出口ではない
- ②本人の自己肯定感を高める 徹底した本人尊重
- ③翻訳機能 行政と本人 事業所と本人 地域と本人
- ④SOSを言える気づける地域づくり(知ることによって優しさが生まれる)
- ⑤開発力 ないものは作る セーフティネットを作る事業 例 緊急小口資金等
- ⑥できる・できないのジャッジのワーカーではいけない
本人の生活から支援を組立てる 支援から参加の視点
- ⑦家族全体の見立てが大切
包括から見たら虐待? 息子支援は?
保護か?就労支援?
- ⑧スモールステップを積み上げる 本人と目標を共有する
- ⑨諦めない心 人生をあきらめかけて人を支える私たちが先に諦めてはいけない
- ⑩援助関係づくり サービス拒否は支援者が拒否されてる
あなたを心配している。苦しい思いを受け止める
社会資源の活用は本人が主体化しないと始まらない



コロナ禍での生活困窮の取り組み 支えられてた人が支える人に

- 公園でのホームレス支援のアウトリーチ
- メダカプロジェクト
- 54回目のアウトリーチ
- 常設型フードバンク



全国の社会福祉協議会は今

緊急小口資金 総合福祉資金 への対応

...コロナの影響で減収した人への貸付

この2か月でH21～23年(リーマンショック東日本大震災)の3年間の貸付件数を越えた

飲食、イベント、観光、タクシー、様々な教室の先生、美容師、俳優、格闘家等

豊中では毎日100件を超える相談

すでに3000件を超えて

ゴールデンウィークも休日も返上で支えてきた

⇒本来SOSを出せない人やつながりにくい人に手を回せない



豊中社協独自のフードバンク 困窮世帯など2500世帯に





豊中社協YOUTUBEチャンネル 豊中社協TV 5月15日開局

主役は住民！

地域まるごとコミュニティメディアが誕生！
5月15日（金）から開局！

豊中市社会福祉協議会 Youtube チャンネル

- ① おうちで介護予防チャンネル
体操、折り紙、歌笑指導など
- ② 地域ニュース
離れていてもつながれる、様々な地域活動の知恵と工夫を紹介
- ③ 地域福祉学びチャンネル
第1弾は全国校区小地域福祉活動サミット in 豊中で披露した住民主体の地域共生劇団による「心の扉」の配信。
- ④ 豊中びと〜コロナに負けない絆メッセージ〜
豊中に関連する様々な皆さんにエールをいただきます。

お問合せ先：社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会
〒560-0023 大阪府豊中市岡上の町2丁目1番15号
(豊中市すこやかプラザ内)
TEL. 06-6841-9393

離れていても、つながろう



豊中社協TV

チャンネル登録

ロード動画

ホー康の健康教室
まんびょんカエル
12:22

防シリーズ〜ヤッホー康の折室〜 #豊中社協TV #はじめ
TV
20 時間前
豊中社協TV
214 回視聴・1 日前

おうちで介護予防シリーズ〜歌笑指導〜 #豊中社協TV #劇団わらび座
豊中社協TV
184 回視聴・1 日前

チャンネル

戻る

